

## ●インフラの整備を使命と考える●

お陰さまでFDCは開館20周年を迎えることができました。これもひとえに関係各位のご支援、ご協力の賜物と深く感謝します。

愛知県、尾張西部地域24市町村、関係業界18団体の熱意でFDCが設立されたのは昭和57年8月7日で、59年2月13日にはFDC開館の運びになりました。新しい会館を目の前にして、職員一同、「繊維を中心とした地場産業の発展に微力ながら、しかし精一杯の力を出して貢献したい」と決意をあらたにしました。

あれから20年、わが国経済、繊維産業、尾州産地は大きく変貌しました。とりわけ地場の主要産業である毛織物業は消費の低迷と輸入品の増加などから、大変厳しい状況に立たされました。私たち職員一同は、環境が厳しさを増すごとに、「お役に立つことは何か」「ビジネスに貢献できることは何か」を考え、行動してきました。

そして今期、FDCは「さらにビジネス寄りに」をテーマとしたルネッサンス方針を打ち立てました。変化に機敏に対応していくことが、お役に立つと考えたからです。地場繊維産業の発展のために「売れるものをつくる」、「売る人材を育成する」、「売れる仕組みをつくる」であり、地域おこしでは「地場産品の発掘」と「地域住民と交流」が、その柱です。

地場産業の発展に不可欠なインフラの整備こそFDCの使命と考えます。FDCに来たら「ビジネスチャンスの芽がある」といわれるよう、さらに健闘します。

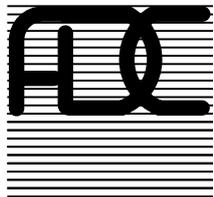
職員一同、今後の5年、10年も皆さんと共に歩み続けます。引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。20周年を機に、改めて尾州産地は不滅であると考え、与えられた任務に邁進します。

平成16年2月1日

FDC職員一同



「久遠の絆」加藤 卓男 作 陶壁前にて



ICHINOMIYA FASHION DESIGN CENTER